

2018. 1.16

# 情報ネットワーク

Ibaraki Univ. Dept of Electrical & Electronic Eng.

Keiichi MIYAJIMA

# 今後の予定

## 期末試験までの予定

1月16日(火) IPを助けるプロトコルと技術1(レポート有)

1月23日(火) IPを助けるプロトコルと技術2(レポート有)

1月30日(火) まとめ(レポート無)

2月6日(火) 期末試験

# IPを助けるプロトコルと技術

1

# DNS

- DNSの役割

IPアドレスは数字の羅列 → 人間にはわかりづらい

例) 157.80.12.28 = www.ibaraki.ac.jp

ドメイン名

↓

IPアドレスを人間にとってわかりやすい形に対応させてくれるシステム

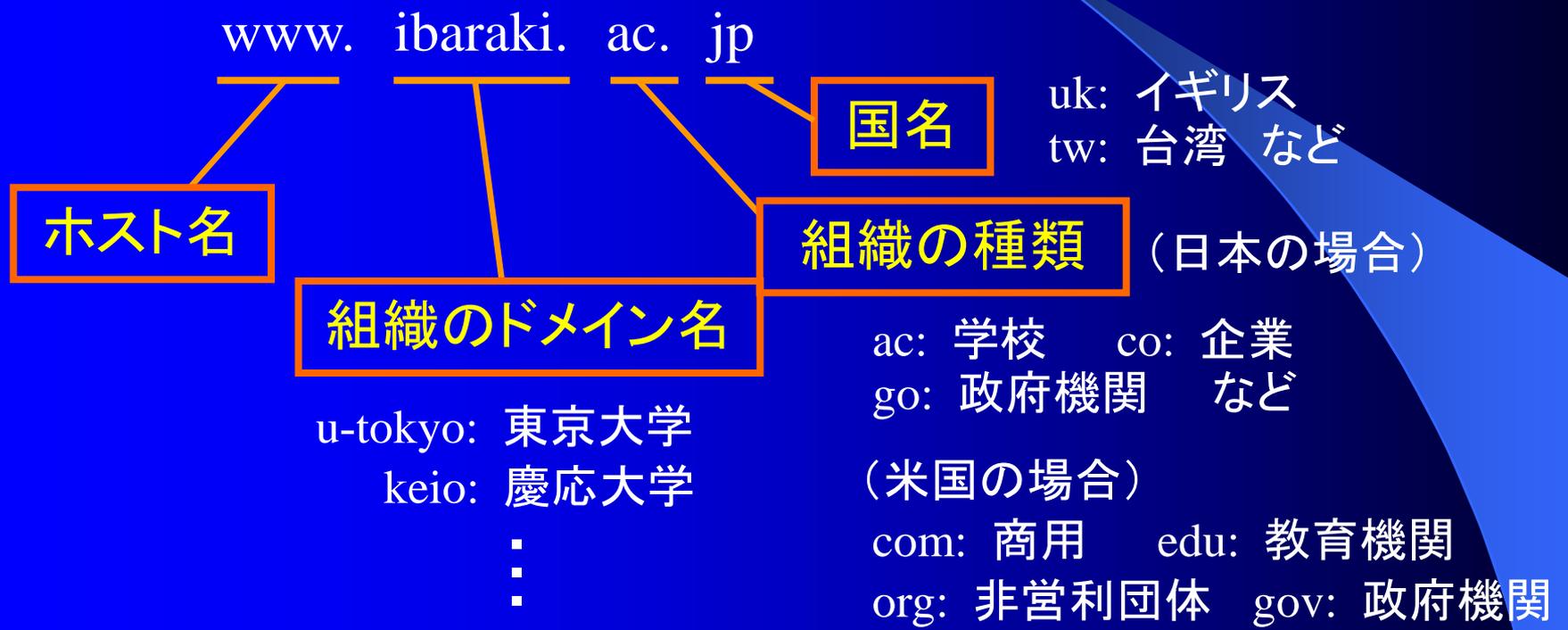
**DNS (Domain Name System)**

Windowsではnslookupコマンドで調べることができる

# DNS

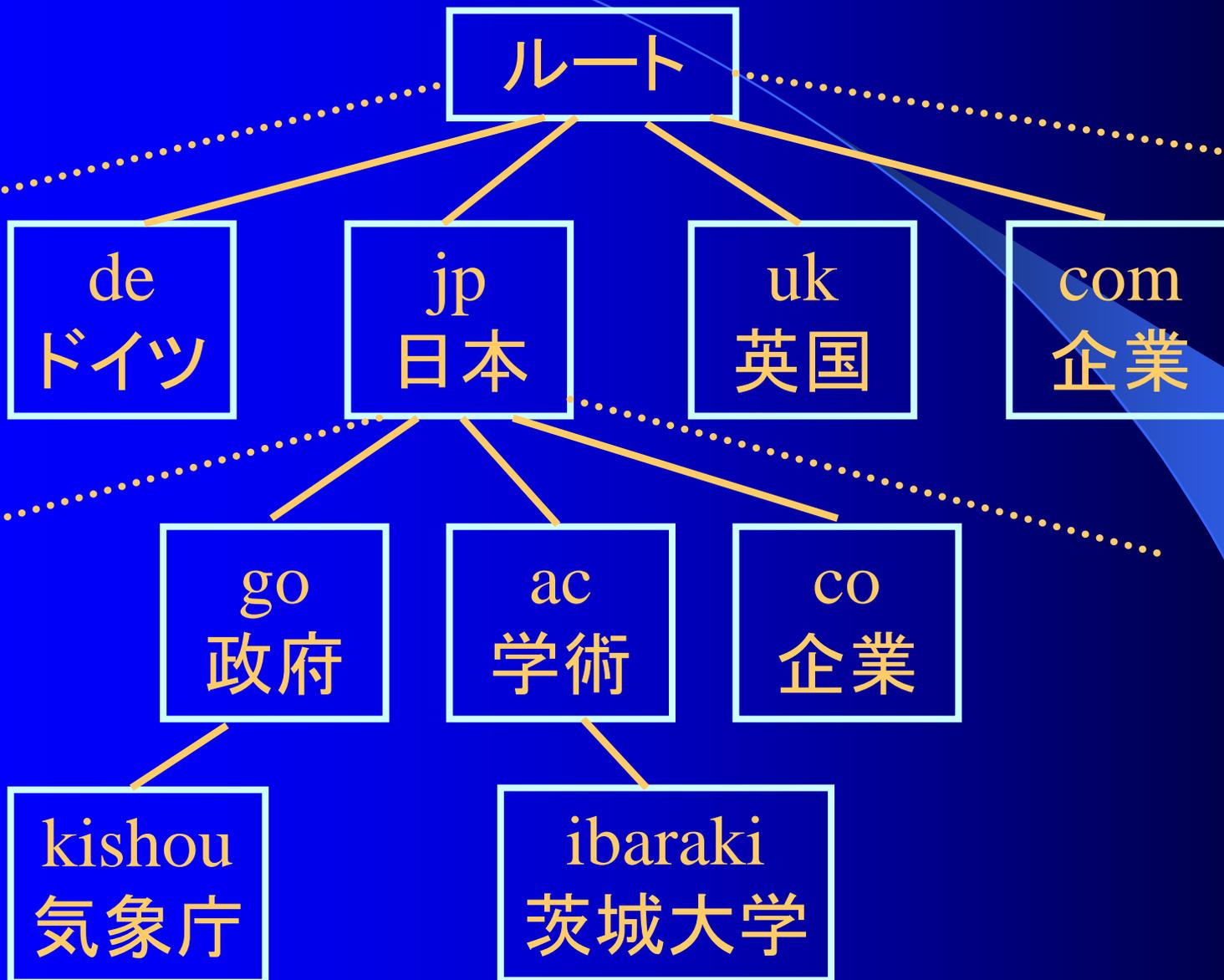
## ●ドメイン名の構造と管理

ドメイン名は同じ名前がぶつからないように管理されている



# DNS

## DNSサーバの階層構造



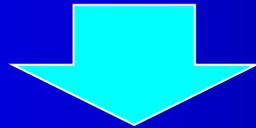
# DHCP

ネットワークで通信するホストにはIPアドレスが正しくつけられている必要  
かつては・・・

ホスト一つ一つにIPアドレスを設定するのは管理者の仕事

しかし、

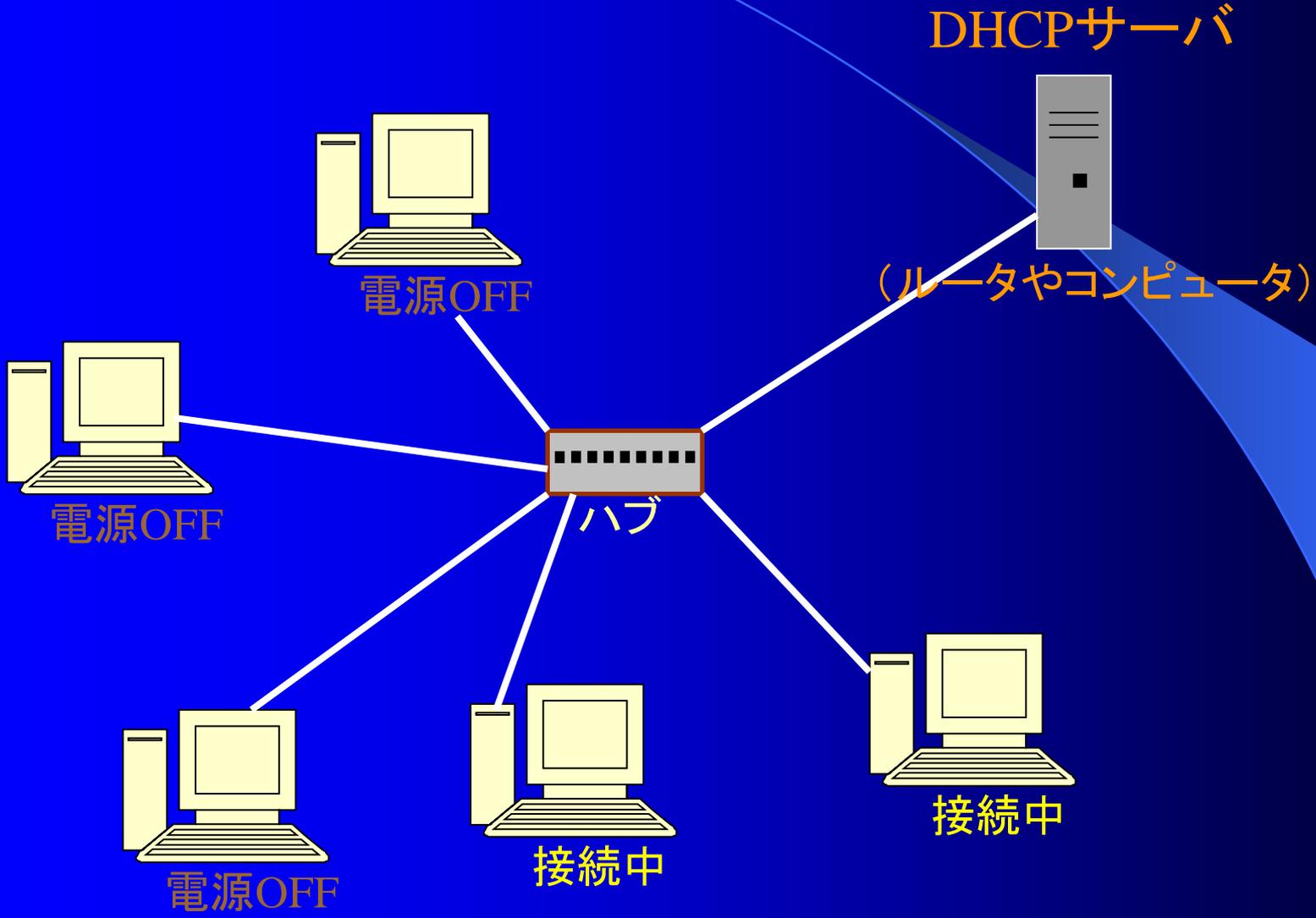
ネットワークが大きくなると膨大な手間がかかり大変



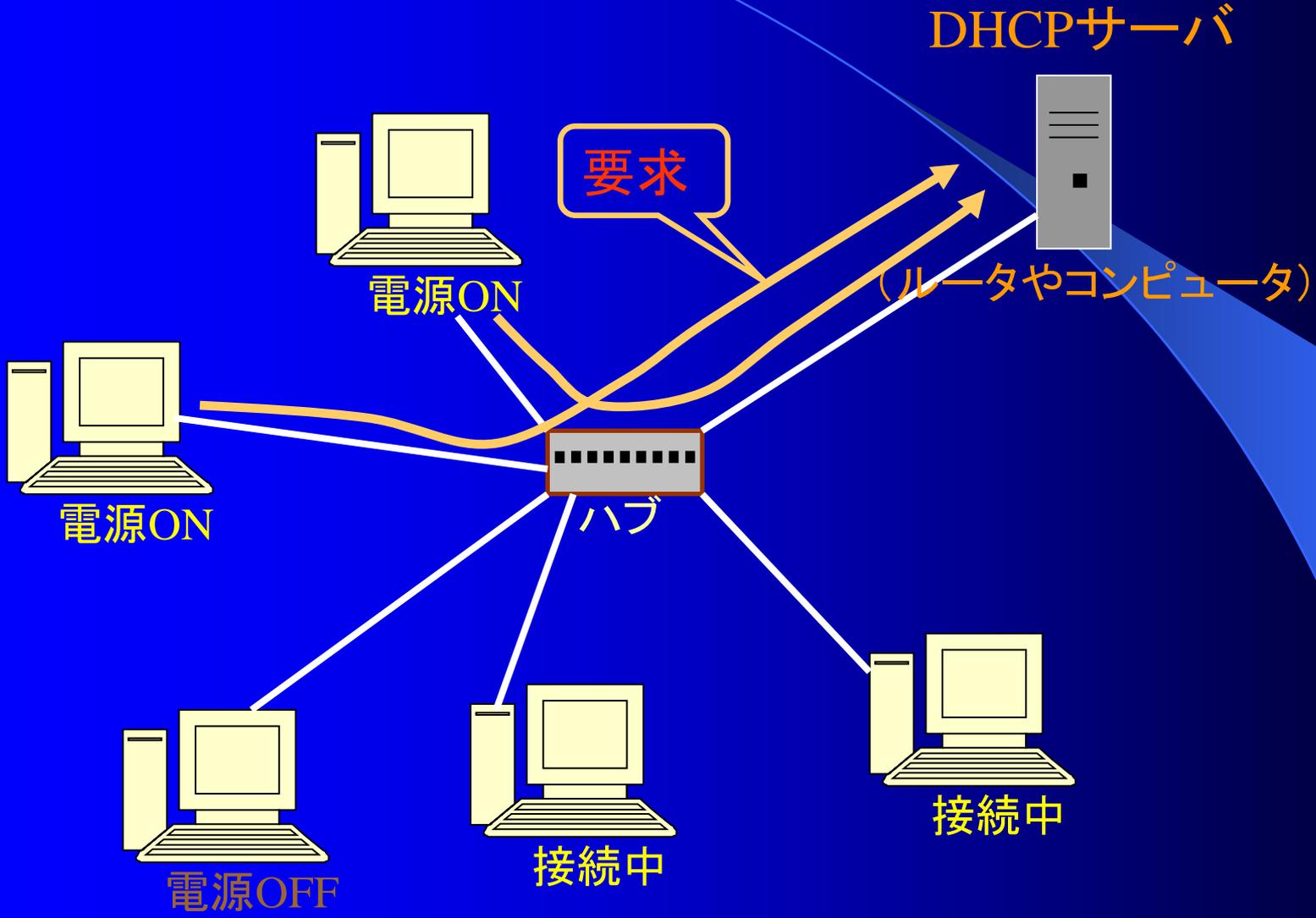
- DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IPアドレスを自動的に割り当てるしくみ

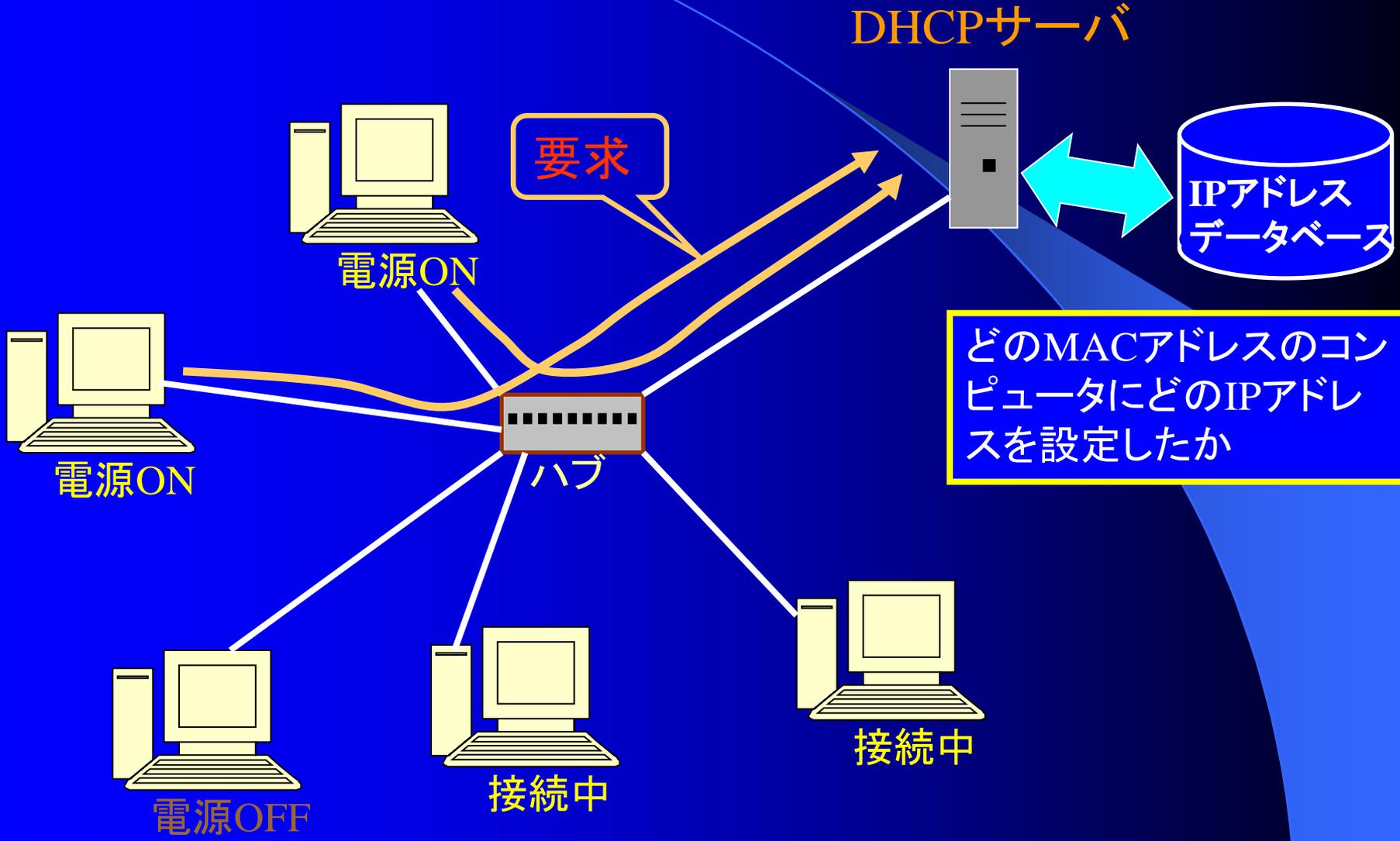
# DHCPのしくみ



# DHCPのしくみ



# DHCPのしくみ

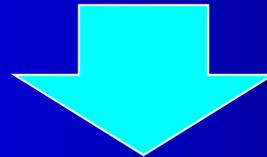




# NAT (Network Address Translator)

- グローバルIPアドレス枯渇問題

インターネットの急速な普及により、グローバルIPアドレスが不足してきた。



グローバルIPアドレス一つで複数のホストをインターネットに接続する技術

**NAT (NAPT)**

# NATのしくみ

グローバルアドレス  
202.244.184.13

始点IP:202.244.163.7  
始点ポート:80

グローバル  
IPアドレスの世界

インターネット



終点IP:202.244.163.7  
終点ポート:1111

グローバルアドレス  
202.244.163.7



NATルータ

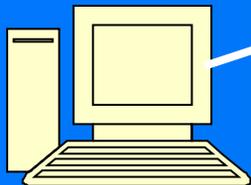
社内LAN

プライベートアドレス  
192.160.0.1

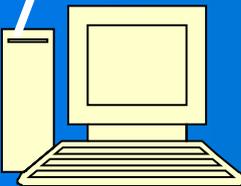
プライベート  
IPアドレスの世界

始点IP:192.168.0.4  
始点ポート:80

終点IP:192.168.0.4  
終点ポート:1024



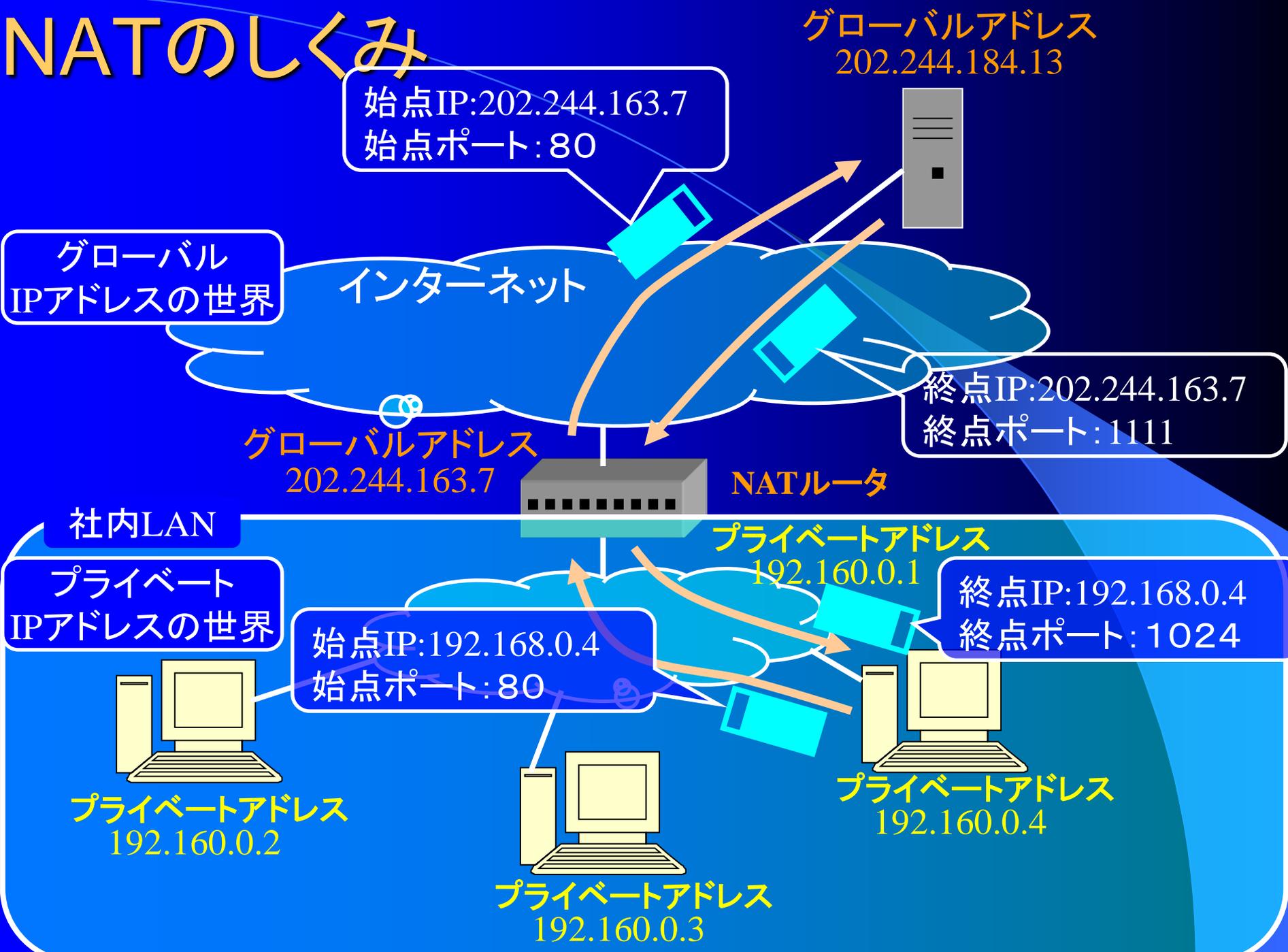
プライベートアドレス  
192.160.0.2



プライベートアドレス  
192.160.0.3



プライベートアドレス  
192.160.0.4



# NATのしくみ

グローバルアドレス  
202.244.184.13

始点IP:202.244.163.7  
始点ポート:80

アドレス変換テーブル  
外部IP:202.244.184.13、ポート番号:80  
内部IP:192.160.0.4、ポート番号:80  
外部IP:202.244.184.13、ポート番号:25  
内部IP:192.168.0.4、ポート番号:25

グローバル  
IPアドレスの世界

インターネット

グローバルアドレス  
202.244.163.7



NATルータ

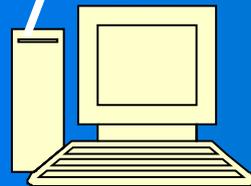
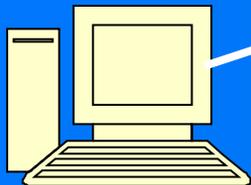
社内LAN

プライベート  
IPアドレスの世界

プライベートアドレス  
192.160.0.1

始点IP:192.168.0.4  
始点ポート:80

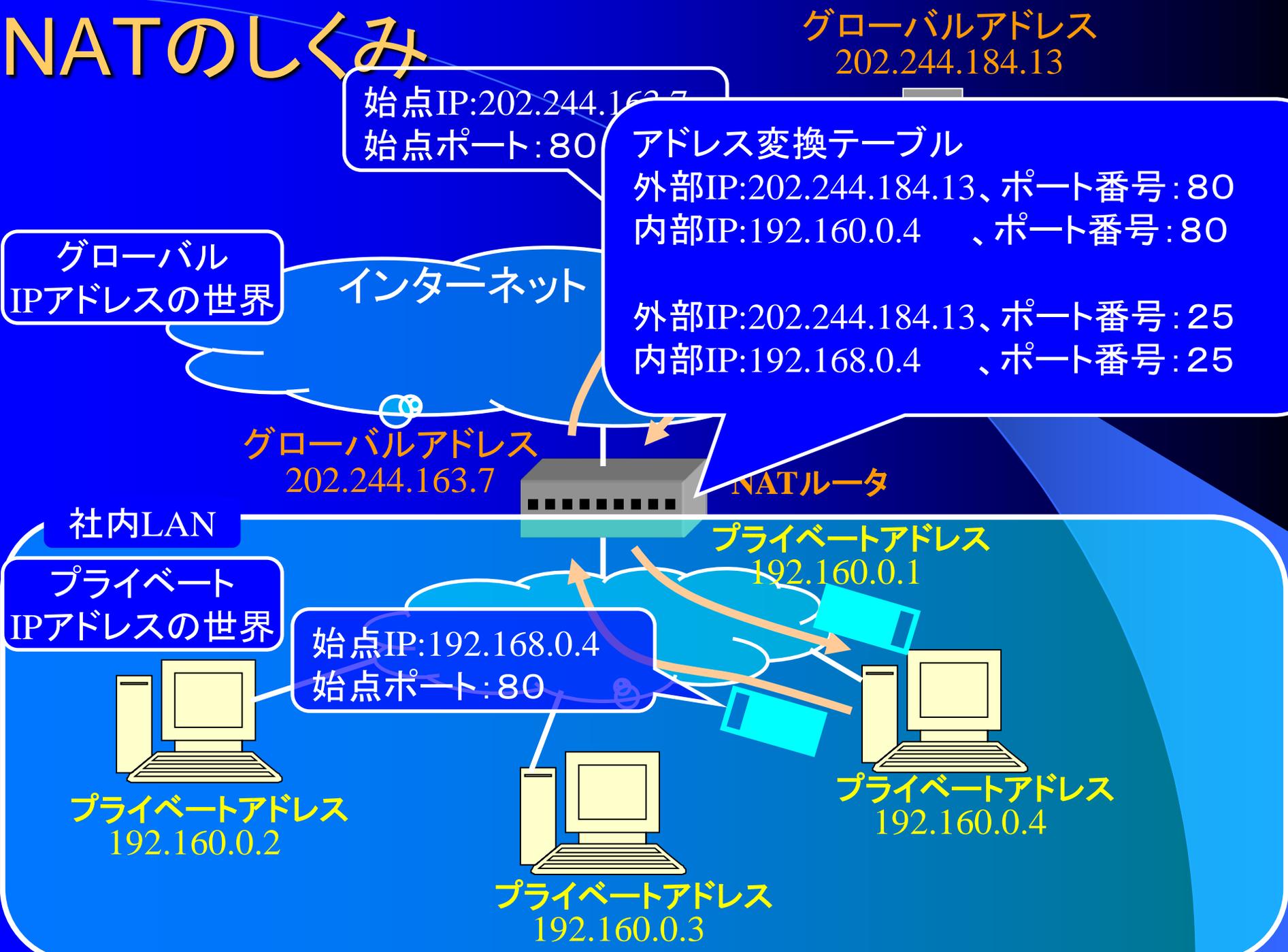
プライベートアドレス  
192.160.0.2



プライベートアドレス  
192.160.0.3



プライベートアドレス  
192.160.0.4



# NATのしくみ

- NAT (Network Address Port Transfer)

現在では、IPアドレスだけでなくポート番号も含めて変換を行う。

現在、ほとんどの家庭用のルータは、DHCPサーバやNAT(NAPT)を兼ねている。

# NATの問題点

- 双方向アプリケーションに支障

NATを利用すると、外部から内部へ接続できない



セキュリティ的には良いが、双方向アプリケーションで支障が出る場合がある。

# 本日のまとめ

## IPを助けるプロトコルと技術 1

- DNS

DNSの役割、ドメイン名の構造と管理

- DHCP

- NAT

NATのしくみと問題点

# 本日の課題

1. DNSの主な役割について、説明しなさい。
2. DHCPについて説明しなさい
3. NAT(NAPT)について説明しなさい